

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【伴走型支援】

1 趣旨

市町村等の取組をサポートするため、希望する市町村等にセンター職員を派遣し、市町村等の職員とともに課題解決に取り組む、伴走型の支援を行う。

2 伴走型支援の方法等

○受付期間：通年

○相談対応：随時

○依頼方法：伴走型支援依頼申込書を提出

○支援内容：当センターが実施する事業等のノウハウや専門職としての知見及び経験に基づいた、指導・助言・相談等を行う。

〈例〉・事業の企画・立案についての相談

・研修講座の講師選定に係る相談

・コミュニティ・スクールにおける熟議（以下CS 熟議）の指導・助言

・オンライン配信機器接続の仕方についての指導・助言

・研修会への職員派遣 等

○支援方法：電話、メール、面談等により、相談内容をヒアリングし、アドバイスや情報提供等を行う。

3 取組実績

- ・五戸町教育委員会：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言
- ・東北町教育委員会：コミュニティ・スクール立ち上げについての指導・助言
- ・おいらせ町教育委員会（2件）：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言
- ・弘前市教育委員会（3件）：研修会内容の相談及び当センター講師派遣
- ・青森市立荻町小学校：研修会講師選定
- ・教育庁文化財保護課：オンライン配信機器接続の仕方について（社セ大研修室）
- ・八戸市立城北小学校：CS 熟議の指導・助言及び当センター講師派遣
- ・八戸市立吹上小学校：CS 熟議の指導・助言及び当センター講師派遣
- ・つがる市教育委員会：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言
- ・大鰐町教育委員会：CS 熟議の指導・助言及び当センター講師派遣
- ・黒石市教育委員会：研修会講師選定及び研修会内容の指導・助言



4 受講者の感想

- ・支援2年目として昨年度の経緯を踏まえた話合いをコーディネートいただいた。組織変革の必要性も含め、皆が自分事として考える機会となり有意義だった。
- ・初の熟議は想像以上の盛り上がりで、参加者間の交流と積極的な意見発表が見られた。特にファシリテーターの力量が重要で、話しやすい雰囲気づくりが大切だと感じた。今後も熟議を継続し、伴走型支援を活用していきたい。

5 成果

伴走型支援では14件の申し込みがあり、市町村からは専門的アドバイスや状況に応じた具体的な支援が求められている。申し込み件数が想定を上回ったことにより、伴走型支援の必要性が判明した。